

【B 発達障害児者への支援について伺います】

問3 あなたの部署では、発達障害児者への支援（相談を含む）を行っていますか。

1 行っている (次頁へ) 2 行っていない (2へ)

2) 支援を行っていないと答えた方へおたずねします。

あなたの部署では今後、発達障害児者への支援を行う予定はありますか

1 ある 2 ない 3 行いたい、実際にどうしたらよいか分からない

※アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

【C 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います（その① 特性の理解）】

問4 あなたの部署では、発達障害に伴う「感じ方（感覚）」や「周りのことへの理解の仕方」「自分の気持ちの表し方」など（以下、「障害特性」と記載）にどのような特徴があるか、専門職の人（医師、発達障害に関する専門機関の職員等）などが調べていますか。

- 1) 調べている 2) 調べていない

↓

（副問） 1) 調べていると答えた方におたずねします。どのように障害特性を調べていますか。
当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 行動観察（ ）
② ご本人及び関係者への聞き取り（ ）
③ 関係機関からの情報の引継ぎ（ ）
④ その他（ ）

問5 あなたの部署では、発達障害について心理学的な検査を行い、支援に活用していますか。

- 1) 行っている 2) 直接行っていないが、検査結果を活用している 3) 活用していない

↓ （※1、2と答えた方とも以下に回答）

（副問） どのような検査を活用していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 日常生活における困難と要支援度の評価

MSPA（ ）

- ② 知能検査・発達検査

WISC（学齢期）（ ）、WAIS（成人期）（ ）、田中ビネー検査（ ）、

K式発達検査（ ）、K-ABC（ ）、DN-CAS（ ）、遠城寺式乳幼児発達検査（ ）、

ポータージプログラム（ ）

- ③ 適応行動（生活能力）のアセスメント

Vineland 適応行動尺度II（ ）、S-M社会生活能力検査（ ）、

ASA 旭出式社会適応スキル検査（ ）

- ④ 情緒と行動のアセスメント

SDQ（ ）、CBCL（ ）

異常行動チェックリスト日本語版 ABC-J（ ）、日本語版感覚プロフィール（ ）

⑤ 自閉症スペクトラムのアセスメント

M-CHAT ()、PARS ()、CARS ()、ADOS ()、AQ テスト ()
PEP - 3 ()、TTAP ()、ADI-R ()

⑥ その他のアセスメント

ADHD-RS ()、CAARS ()、LDI-R ()、全国標準学力検査 CRT ()、
音読検査 ()、言語学習能力検査 ITPA ()、PVT - R 絵画語彙検査 ()、
ミラー幼児発達スクリーニング検査 JMAP ()、日本版感覚統合検査 JPAN ()

【D 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その② 日常生活について)】

問 6 あなたの部署では、発達障害のある人が日常生活を送る上で特に配慮が必要な障害特性について、具体的に把握していますか。

- 1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。どのように障害特性を把握していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 行動観察 ()
② ご本人及び関係者への聞き取り ()
③ 関係機関からの情報の引継ぎ ()
④ その他 ()

問 7 あなたの部署では、発達障害のある人が日常生活を送る上で特に配慮が必要な障害特性に対して、何らかの「手立て」を行っていますか。

- 1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

副問-1 具体的にどのような「手立て」を講じていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- ① これから起きることの見通しが持てるよう、スケジュールやカレンダーで予定を示している。()
② スケジュールに変更が生じるときには、事前に確認している。()
③ 意思疎通に、コミュニケーションカードや具体物の提示、筆談、通信機器などを

- 用いている。()
- ④ 着替え、食事、余暇、休息などの場所を区切り、何をするとどこか見てわかりやすくしている。()
 - ⑤ 日常生活動作や作業の手順表を作り、使うものを順番に並べるなど工夫している。()
 - ⑥ 作業を細かく区切り、都度休憩を入れる、目標の達成状況を確認するなど工夫している。()
 - ⑦ 不注意によるミスを防ぐため、手帳やメモに記録を取り、都度見返すように支援している。()
 - ⑧ 物音や光など苦手な刺激を避けるため、イヤーマフや特別なメガネなどを用いる工夫をしている。()
 - ⑨ 疲れたり調子が悪い時などに、一人で過ごすことが出来る場所（カームダウンエリア）を用意している。()
 - ⑩ できないことや苦手なことは人に頼む、サービスを利用するなど得意なことに集中するようにしている。()
 - ⑪ 周り（社会）とうまく関わるため、共同作業の進め方や周りの人への伝え方などの練習を行っている。()
 - ⑫ 辛いときに休憩し、手助けを求められるように、自分の障害特性を周りの人に伝えるよう支援している。()
 - ⑬ その他 ()

副問－2 日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、ツール（道具や用紙など）を使っていますか。

- 1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

主にどのようなツールを使っていますか。当てはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- 1) コミュニケーションカード（イラスト・写真・文字を含む）
- 2) 筆談（イラスト・写真・文字の使用を含む）のための用紙
- 3) スケジュールボード、カレンダー、スケジュール手帳
- 4) スマートフォンやタブレット端末
- 5) パソコン
- 6) VOCA（音声を出力するコミュニケーション機器）

【E 強度行動障害のある人への支援について伺います (その① 日頃の対応について)】

問13 あなたの部署では、強度行動障害のある人への支援（相談を含む）を行っていますか。

1 行っている (問14へ) 2 行っていない (2へ)

2) 支援を行っていないと答えた方へ、今後の予定についておたずねします。

今後、支援を行う予定はありますか

1 ある 2 ない 3 行いたいですが、実際にどうしたらよいか分からない

※アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問14 強度行動障害のある人を支援するにあたり、障害特性があるために起きる行動で困っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1) 大声や奇声をあげる、泣き叫ぶ
- 2) 自分の顔を叩く、手足に噛みつく、壁に頭を打ち付けるなどの自傷行為
- 3) 物を投げる、壁を蹴る、家具を倒す、ガラスを割るなどの破壊行動
- 4) 周りの人や家族を叩く、噛みつく、物を投げつける、暴言を言うなどの他害行為
- 5) 激しく動き回り、じっとできなくなる（多動）
- 6) 問いかけに反応せず、体も動かなくなるなど行動の停止や同じ動作の反復
- 7) 昼夜が逆転して眠らない
- 8) 食べられないものを口に入れたりするなどの食に関する行動
- 9) 便をこねたり、投げたりするなどの排尿排便行動
- 10) その他()

問 15 あなたの部署では、強度行動障害のある人の日常生活を支えるために、特に配慮が必要な障害特性に対して何らかの「手立て」を行っていますか。

- 1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

副問-1 具体的にどのような「手立て」を講じていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- ① 本人がこれから起きることの見通しが持てるよう、スケジュールやカレンダーで予定を示している。()
- ② スケジュールに変更が生じるときには、事前に本人に伝えている。()
- ③ 本人に関することを決める際、本人が理解できる方法で本人に伝え、選択肢を示すなど意思確認している。()
- ④ 本人が自分の考えを相手に伝えられるよう、コミュニケーションカードや筆談などを用いている。()
- ⑤ 周りの人が本人に必要なことを伝えるため、コミュニケーションカードや筆談などを用いている。()
- ⑥ 着替え、食事、余暇、休息などの場所を区切り、何をするとどこか見てわかりやすくしている。()
- ⑦ 本人が日常生活動作を自立して行えるよう、手順表を作ったり、使うものを順番に並べるなどしている。()
- ⑧ 物音や光などの苦手な刺激を避けるため、イヤーマフや特別なメガネなどを用いる工夫をしている。()
- ⑨ 本人が目標を持って活動に取り組めるよう、トークンシステムを取り入れている。()
- ⑩ 本人が疲れたり調子が悪い時に、一人で過ごせる場所（カームダウンエリア）を用意している。()
- ⑪ 身の回りの世話など日常生活の全般にわたり、性別や実年齢にあわせた対応や配慮をしている。()
- ⑫ 個室の設置や他の利用者との不用意な接触を避けるなど、動線が重ならない工夫をしている。
- ⑬ その他 ()

